

- 02 地域おこし協力隊活動報告
- 03 目次
- イベント情報
- 04 行政情報
- 05 新型コロナウイルスワクチン
 接種情報
- 06 未来の安芸高田市を築く
 都市計画マスタープラン
- 07 私のお気に入り
 ～#市長が訪ねてみる～
- 国民年金のあれこれ
- 08 市政の動き
- 10 健康いいカラダ
- 11 国保だより
- 12 広島広域都市圏
 みんなの遊び場
- 16 ハイ!スクール
 人輝く
- 18 げんきな親子
- 20 としょもっと!
- 22 歴史紀行
- 23 多文化共生推進コラム
 「あきたかたの世界」
- 警察
- 24 消防
 トピックス/募集
- 26 およこび・おくやみ
- 27 3月の相談
- 28 安芸高田のアイドル



〈今月の表紙〉
2月1日(火)、吉田町の清神社で行われた
「サンフレッチェ広島必勝祈願清神社参拝」

本庁・支所連絡先

安芸高田市 ☎ お太助フォン 42-2111 (代)
八千代支所 ☎ お太助フォン 52-2111
美土里支所 ☎ お太助フォン 54-0311
高宮支所 ☎ お太助フォン 57-0311
甲田支所 ☎ お太助フォン 45-4111
向原支所 ☎ お太助フォン 46-3111

市役所開庁時間 8時30分～17時15分
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

安芸高田市
ホームページ

<https://www.akitakata.jp/>



AKITAKATA My Town Events

3月のイベント情報

今月開催の市内イベント情報をお知らせします

3/13日

TGR トヨタ ガズレーシング ラリーチャレンジ 2022ラリーin安芸高田

①高宮町原田～神楽門前湯治村～美土里町北
～高宮町来女木～高宮町原田
②10時～16時
③セレモニアルスタート:10時(神楽門前湯治村)
④JAF中国地域クラブ協議会 ラリー部会
☎090-9733-7719



カラフルにカラーリングされたラリーカーが美土里町・高宮町を通過します(観戦無料)。

3/20日

三矢の里神楽共演大会

①クリスタルアージュ(吉田町吉田)
②開演:12時30分(開場:12時)
③自由席:2,000円/車いす席(ペア):2,500円
※指定席はありません。
④三矢の里神楽共演大会実行委員会事務局
☎43-0587



吉田神楽団・高猿神楽団・八千代神楽団が出演。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して開催します。

参加者募集

あきたかた Meet-up
#神楽団と語ってみる

開催日
3/12(土)
16時～
申込期限
3/4(金)

コロナ禍で公演数が減少している『神楽』。今回は、神楽団員と神楽ファンが『神楽』をテーマに語り合います。安芸高田神楽の今後について、意見交換してみませんか？

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で開催します。

対象 神楽に興味・関心がある人

場所 神楽門前湯治村 かむくら座

申込 右記QRコードから申し込みフォーム
にアクセスし、申し込んでください。



※20時30分～神楽定期公演があります(有料)

☎地方創生推進課 地方創生推進係 ☎お太助フォン 42-2124

高宮町川根地区に家族で暮らしながら中山間の地域振興に取り組んでいる小川さん。1年目の今年度は、地域のさまざまな仕事や行事に参加しました。そこで感じたのは人の魅力。「この地域は自主的にまちづくりに参加している方が多い。“自分たちのことは自分たちでやる”という意識が強く、とてもパワフル。これはとても大きな財産です。さらにエコヴィレッジかわね、エコミュージアム川根といった施設も豊富で、使い方次第で何にでも生まれ変わる可能性を感じています。今後は山菜を採ったり、川遊びをしたり、川根を丸ごと体験できるようなパッケージを作ることが目標。「楽しんでもらうだけでなく、その後も川根に関わっていきたくするような、関係人口増加につながるものにした」と話してくれました。



一過性のものでなく
その後も川根に携わりたくなる
パッケージプランを作りたい

おがわ たかゆき
小川 喬之さん



各分野で奮闘中

地域おこし協力隊活動報告



活動を通して得たつながりから
たくさんのアイデアをもらった
一つずつ実現させていきたい

おきよこた ひでお
沖横田 秀雄さん



沖横田さんは、規格外や収穫量が多すぎる農作物など、市場に出にくい農作物を生かすための活動を行っています。生産者から情報を収集し、販売店を回って販路を開拓することや、しょうゆ蔵などの加工場と連携して商品開発につなげるのが主な仕事。今年度は吉田高校、道の駅「三矢の里あきたかた」、梨の生産者が協力して誕生した「こだま梨サイダー」づくりにも参加しました。3者とのパイプ役や広報など、全体のまとめ役として活躍。贈答用にならない小玉の梨を使ったサイダーは、11月の発売当日に500本が完売。大成功を収めました。「ボトルサイズやテイストなどさまざまな課題も見えてきました。来年度の取り組みに生かしていきたい」と沖横田さん。農作物のPR係として、沖横田さんの活動はまだまだ続きます。

☎地方創生推進課 地方創生推進係 ☎お太助フォン 42-2124

本紙掲載のイベント情報等は、2月4日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止、または延期となる場合がありますので、最新の情報は各問い合わせ先に確認してください。